あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

QRコード読み取りでバックナンバーが確認できます（スマートフォン対応）

果菜類の追肥のポイント

4月～5月に植え付けたキュウリ、トマト、ナスなどの果菜類は、気温の上昇とともにぐんぐん育ち、果実のふくらみも早まってきます。

育ちが盛んになるにつれて、根からの肥料の吸収も多くなり、元肥に与えた肥料分だけでは足りなくなるので、追肥により、不足分を補う必要があります。

JA広報通信より転載　板木技術士事務所●板木利隆

●キュウリ、ナス、ピーマンなど

実どまりがよいので、植え付け半月後に第１回を、その後15～20日に１回の割合で、収穫期間中肥切れしないよう継続して与えます。

●トマト、スイカ、カボチャなど

早く与えすぎると草勢が強くなりすぎ、実どまりしにくくなる懸念がありますので、着果し果実がゴルフボール大以上に肥大するのを見届けてから、与えるようにすることが肝心です。

＊＊＊＊ 追肥のポイント ＊＊＊＊

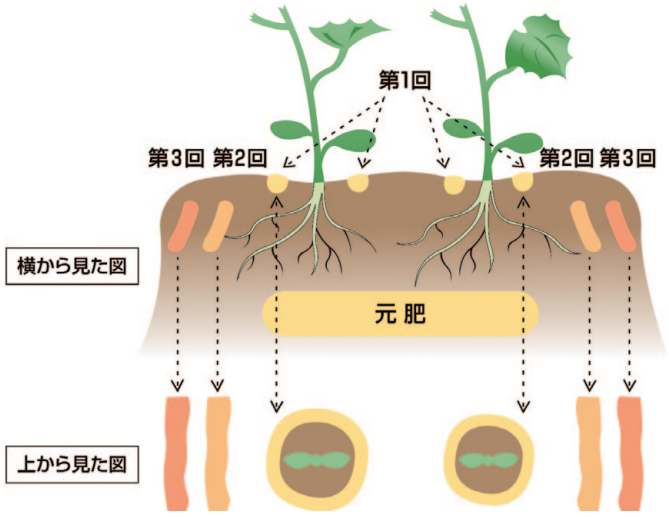
❶ 適期を逃さないこと。
❷ 肥料の種類を選び、適量を守ること。
❸ 吸収しやすい位置に順次施すこと。

●肥料の種類

化成肥料と油かす、または有機配合肥料などが適し、量は１株当たり、各大さじ１～２杯ぐらいを目安に、葉色や生長速度により、手加減して与えます。２～３回目になると生育盛りとなり、収穫も増えてくるので、２～３杯ぐらいに増量していきます。

●施す位置

根の先端付近が肥料を一番吸収しやすいので、第１回は株元から15～20cm離して円状とし、２回以降は列に沿ってくわで軽く溝をつくって与え、必ず土を覆っておきます。トマト、スイカ、カボチャなどは生育の初期段階で追肥することは少なく、着果後根が張ってから第１回を施すので、はじめから溝状に与えるのが合理的です。



JAおおいた　営農よろず相談員　利光泰郎　監修

営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、
●農作物の栽培方法に関すること　●病害虫の防除に関すること
などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

- 電話番号　(097)544−6462（むよろず）
  ※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。
- 受付時間／月・水・金曜日（祝日は除く）8:30～17:00
  （受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）
- 設置場所　営農部

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのＪＡ購買店舗をご利用ください。